

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 金(3・4限)	教室名	303
担 当 教 員	柴崎 清志	実務経験と その関連資格	鍼灸整骨院開業・大阪ハイテク附属整骨院 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の業務範囲、損傷のメカニズム、骨折や脱臼、軟部組織損傷、または整復法・固定法・後療法については理論的に意義や目的を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って、本読み、医学漢字・用語の確認						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験に対して重要科目で、必修問題にも多数の出題があり、必ず必要となる専門科目の総論の概論であるため、確認作業がいる科目						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師とはが説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 医学漢字 単語の意味	
		各コマにおける授業予定	柔道整復術および柔道整復師法の沿革			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の業務が何かが説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 医学漢字 単語の意味	
		各コマにおける授業予定	業務範囲とその心得および柔道整復師倫理綱領			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	外傷にかかる力(外傷とはが説明できるようになる)。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 初歩物理学が必要	
		各コマにおける授業予定	人体に加わる力 損傷時に加わる力			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	痛みの元、原因が説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 生理学基礎	
		各コマにおける授業予定	痛みの基礎			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の役割や機能が説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学	
		各コマにおける授業予定	骨損傷の概説、分類			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折外傷の症状が説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	骨折の症状・合併症		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児と高齢者の違いを説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	小児骨折・高齢者骨折		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児と高齢者の違い説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	小児骨折・高齢者骨折		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の癒合時間や経過について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	骨折の癒合日数・治癒経過		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	治癒に影響する内・外因について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	骨折の予後・治療に影響を与える因子		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	捻挫とはが説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	関節の損傷(捻挫・脱臼)① 構造と機能		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	捻挫・脱臼の違いを説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	関節の損傷(捻挫・脱臼)② 概説・分類		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	組織損傷が説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	関節の損傷(捻挫・脱臼)③ 損傷組織・鑑別診断・構成組織損傷		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	診断について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	関節の損傷(捻挫・脱臼)④ 鑑別診断・構成組織損傷		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱臼とはが説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	脱臼① 脱臼の定義・頻度・分類(性状による分類・程度による分類)①		

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	柔道整復総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期 金(3・4限)	教室名	303
担当教員	柴崎 清志	実務経験とその関連資格	鍼灸整骨院開業・大阪ハイテック附属整骨院 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の業務範囲、損傷のメカニズム、骨折や脱臼、軟部組織損傷、または整復法・固定法・後療法については理論的に意義や目的を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って、本読み、医学漢字・用語の確認						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験に対して重要科目で、必修問題にも多数の出題があり、必ず必要となる専門科目の総論の概論であるため、確認作業がいる科目						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	脱臼の分類②について説明できるようになる。		柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学	
	各コマにおける授業予定	脱臼② 関節面相互・数・創部との交通の分類				
第17回	授業を通じての到達目標	脱臼の分類③について説明できるようになる。		柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学	
	各コマにおける授業予定	脱臼③ 外力の働いた部位の分類・発生時期・経過・頻度と機序の分類				
第18回	授業を通じての到達目標	症状について説明できるようになる。		柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学	
	各コマにおける授業予定	脱臼④ 症状の分類・合併症				
第19回	授業を通じての到達目標	整復障害について説明できるようになる。		柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学	
	各コマにおける授業予定	脱臼⑤ 整復障害・経過と予後の分類				
第20回	授業を通じての到達目標	筋の機能と構造について説明できるようになる。		柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学	
	各コマにおける授業予定	筋の損傷① 構造と機能・概説・分類				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の症状について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	筋の損傷② 症状・治癒機序・予後		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱の構造と機能について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	腱の損傷① 構造と機能・概説・分類		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱の症状について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	腱の損傷② 症状・治癒機序・予後		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の機能と構造について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	末梢神経の損傷① 神経構造と機能		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	概説や分類について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	末梢神経の損傷② 概説・分類		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経症状について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	末梢神経の損傷③ 症状・治癒過程		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察とはについて説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習
		各コマにおける授業予定	診察法 注意点・概説・時期による分類		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察の意義について説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習
		各コマにおける授業予定	診察法 治療計画の作成・施術録の扱いと記載		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	総復習で柔整総論講義の概要が説明できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習 解剖学
		各コマにおける授業予定	今までの総復習対策		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	総復習とまとめについて理解できるようになる。	柔道整復学・理論編改訂版6版 配布プリント	本読み予習 講義復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		